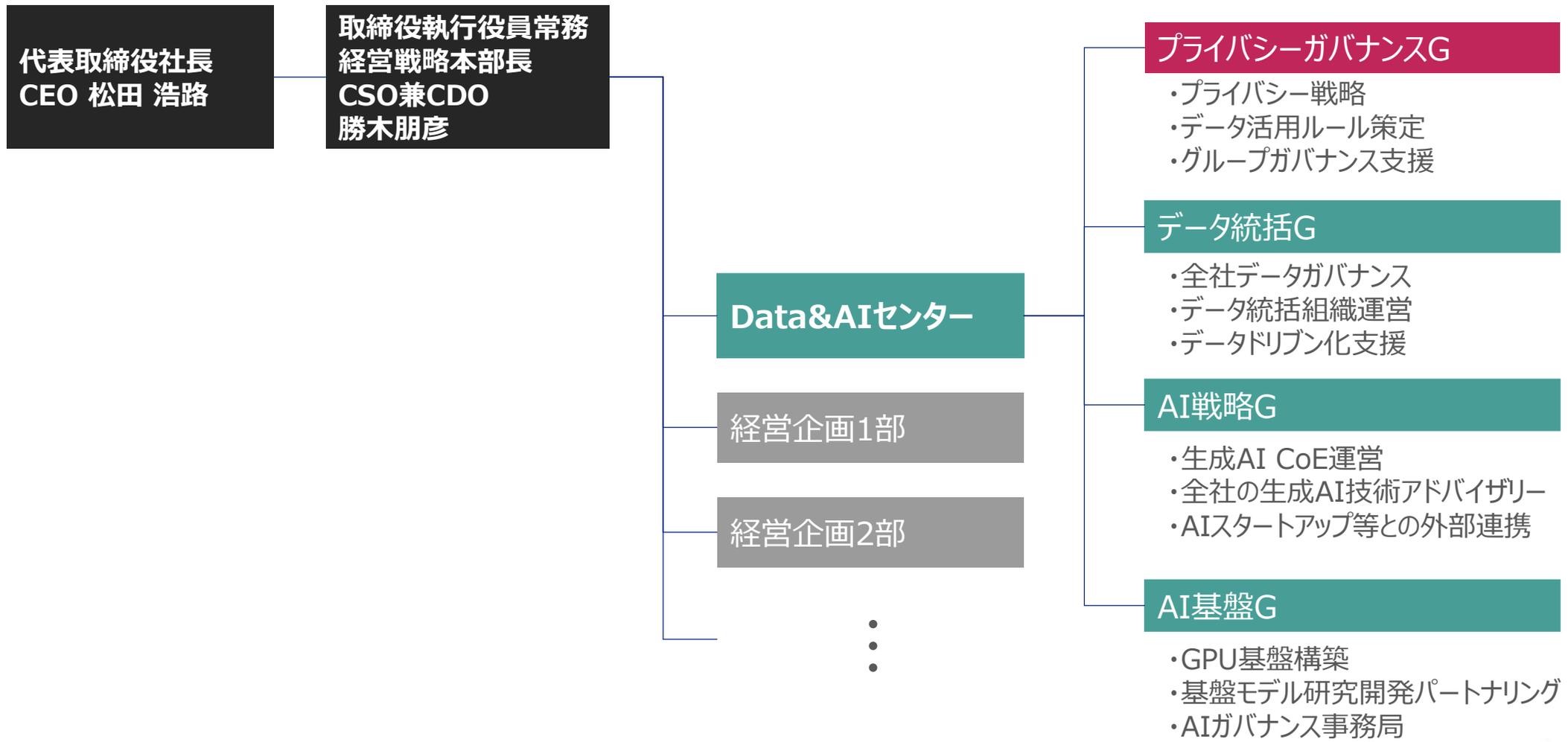


KDDIにおけるデータ利活用とガバナンスの取組

KDDI 経営戦略本部 Data&AIセンター 山崎 晃弘

2025/7/17

組織紹介



利活用とガバナンスのバランス

✓ どちらか一方に偏ることを避け適切なバランスを保ちながらガバナンスの体制を構築

データ取得
ターゲティング
プロファイリング

AI活用

データ利活用
データ基盤構築



プライバシー
ガバナンス

AIガバナンス

データガバナンス

3つのガバナンスの取組み

✓ KDDIではデータ・AIにまつわる3つのガバナンスに取り組んでいる

プライバシーガバナンス

- 個人情報の保護、使用、管理に関する方針や手順を設定し、管理、統制を行うこと
- プライバシー保護と法的リスクへの対応に重点を置く

AIガバナンス

- AIの開発と利用に関する原則、ポリシー、手順を設定し、管理、統制を行うこと
- AIの倫理的活用や法的リスクへの対応に重点を置く

データガバナンス

- 組織がデータマネジメントを実行できるように、管理、統制を行うこと
- データを企業資産として最大限に活用することに重点を置く

プライバシーガバナンスの取り組み

- ✓ 2020年からプライバシーガバナンスの専門体制を構築
- ✓ 消費者に対するコミュニケーションを継続的に実施

①体制の構築

- ✓ 「データガバナンス室の設置（2020年4月～）
 - 管掌役員を社長とした専門部署を構築
- ✓ 「アドバイザリーボードの設置」(2021年2月～)
 - 有識者から構成する第三者組織を設置し、意見聴取
- ✓ 「KDDI版PIA(プライバシー影響評価)」の実施（2021年4月～）
 - 事前にプライバシー上のリスクをチェックする社内ルールを導入

②消費者とのコミュニケーション

- ✓ 「データ利用における基本指針」の策定・公表(2020年1月)
 - 適切にデータを扱うための基本的な企業姿勢を明文化
- ✓ 「プライバシーポリシー」の改定
 - プライバシーポリシーを改定し、よりわかりやすい内容に
- ✓ 「プライバシーポータル」の提供(2020年1月開始)
 - プライバシーに係る説明事項やコントロールビリティ機能をポータル化

消費者とのコミュニケーション -「プライバシーポータル」の提供-

- ✓ 企業サイト内にプライバシーポータルを提供し、分かりやすくお客様のデータ活用を伝える
- ✓ 「基本指針」「コントロール機能」など関連情報を集約

データの利用目的

当社はお客さまのデータを以下の目的で利用させていただきます。

- 1] お客さまにサービス・商品等に関するお知らせをするため**
 ・ お客さまのご契約状態やサービスのご利用状況などにあわせ、当社からキャンペーンやサービスの紹介のお知らせをお届けします
- 2] サービス・商品の提供のため**
 ・ ご契約に基づくサービスの提供や商品の発送等に用いる他、利用状況ポイント付与などを行います
- 3] サービス・商品の利用状況を調査するため**
 ・ お客さまの利用状況を分析し、品質向上・サービス改善を行います
- 4] サービス・商品を安定してお届けし続けるため**
 ・ サービスを安定してお届けするために、監視・運用を行います
- 5] お客さまからの問い合わせに対応するため**
 ・ お客さまからの問い合わせに対応するために、ご契約状況や利用状況

**データ活用の目的や
活用方法をイラストで解説**

処理の方法

当社は「パーソナルデータ」をプライバシーポリシーや各サービスの利用規約等に定める利用目的達成のために、社内で分析・加工等を行います。主な事例は以下の通りです。

例1: お客さま毎にサービスの利用情報を分析し、基本情報(性・年代等)等も踏まえたうえで、お客さま毎の興味や関心を推定し、お客さまへのご案内内容の選定などに活用します

お客さま



お客さまの1人1人の
サービスの契約・
ご利用情報

KDDI



お客さまの
興味・関心を分析



ご案内するサービス・
キャンペーンの選定

• 企業姿勢の表明

- ✓ 「データ利用における基本指針」の掲載

• データ利用・保護の取り組み紹介

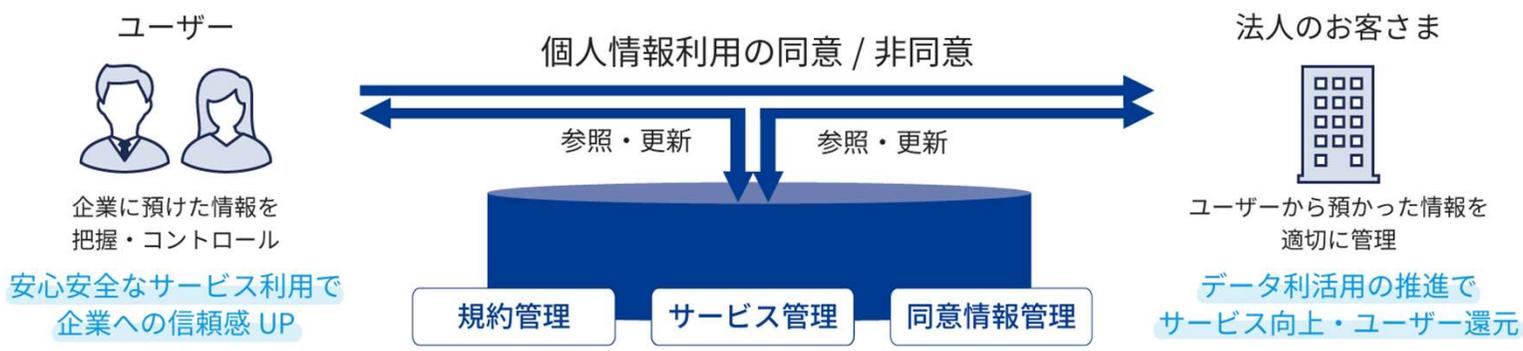
- ✓ 利用データ・目的の解説
- ✓ 各種ポリシーへのリンク

• コントロールビリティ機能の提供

- ✓ オプトアウト機能
- ✓ メールマガジン等の配信停止
- ✓ 上記機能のダッシュボード化

【プライバシーガバナンス事例】同意管理機能 (PPM)

- ✓ 様々な同意を管理する仕組みを導入し、以下を実現
 - ①お客さまが自身の同意状況を把握できる
 - ②社内でのデータ利用時に同意ステータスを把握できる

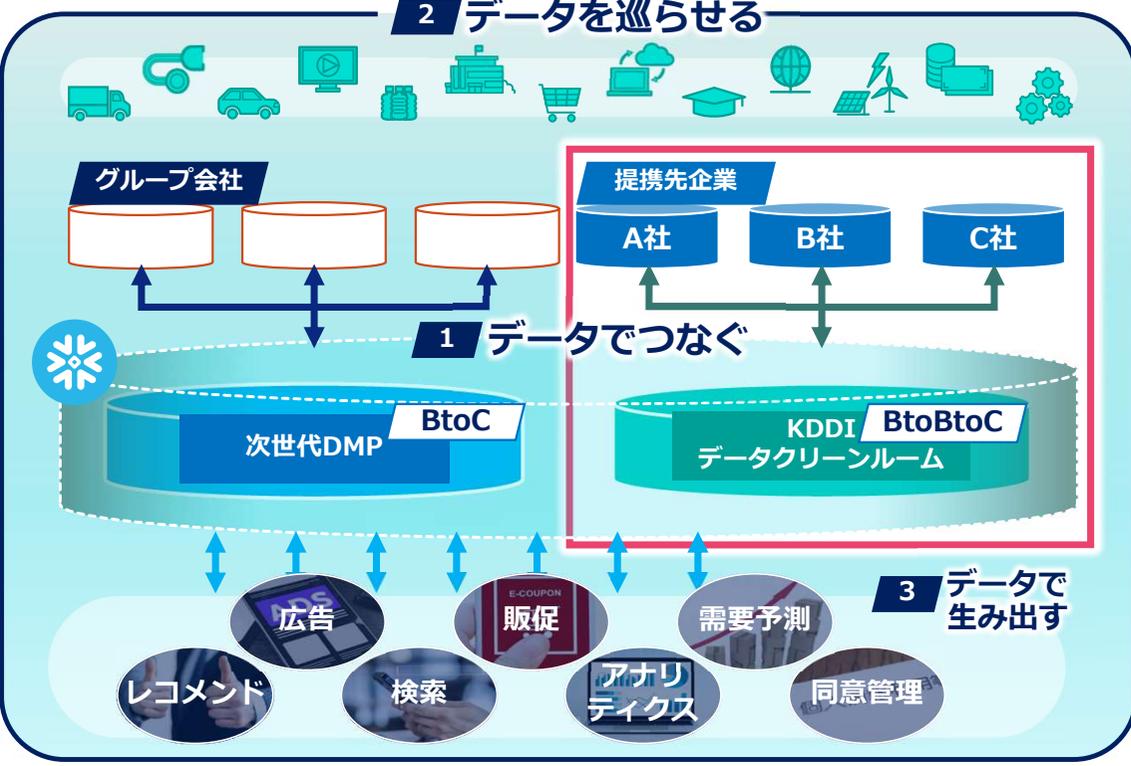


【データ活用事例】KDDIのデータコラボレーション構想

✓ 個人のお客様向けサービスから生み出されたデータをグループ内で活用するだけでなく、異業種とのコラボレーションに活用して、社会還元を目指す

データコラボレーション構想

データコラボレーション構想で目指す提供価値



1
データで
つなぐ

- 企業間の異種データソースを集約・連携し、統合
- 協業パートナーのデータも統合

2
データを
巡らせる

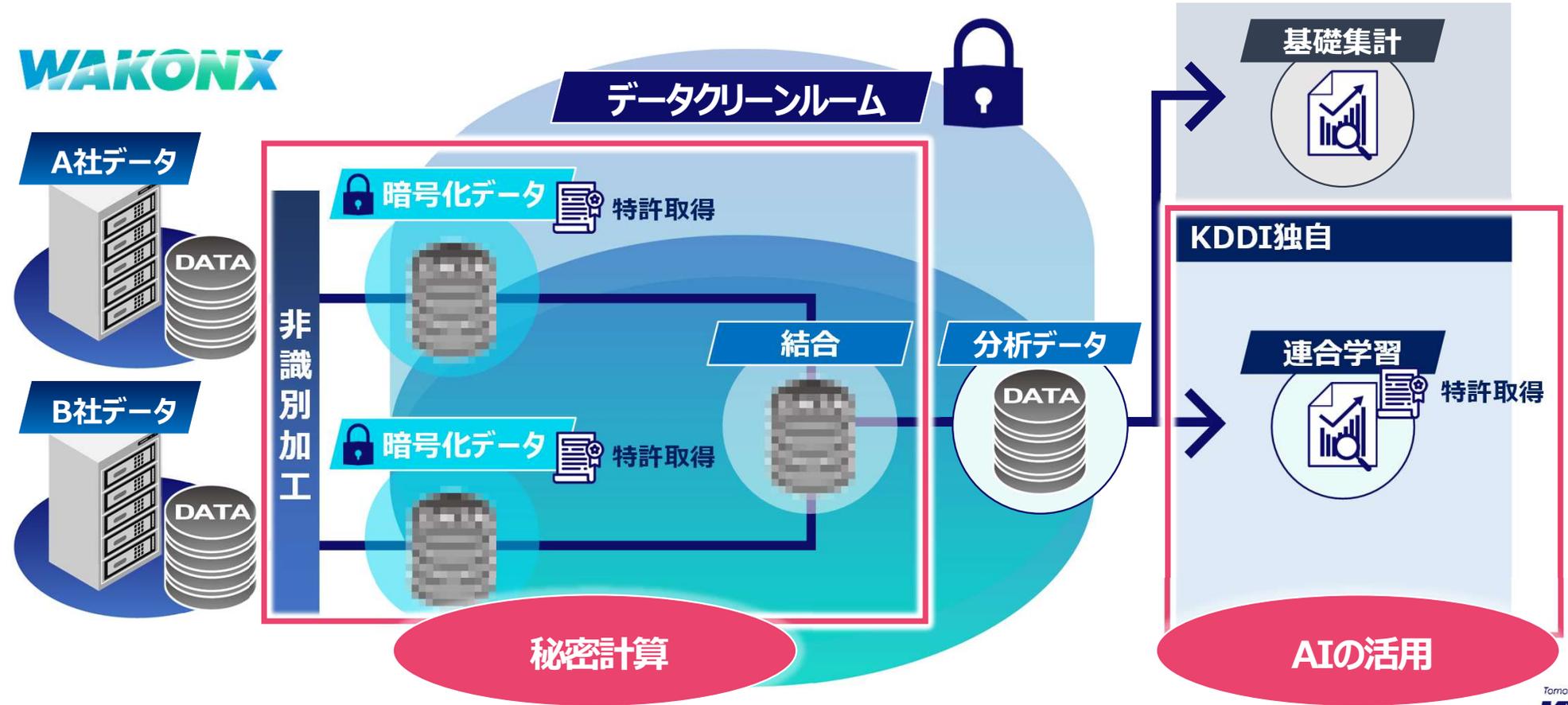
- 応援する仕組みを構築

3
データで
生み出す

- 参画した企業の売上向上
- 新規事業を創出
- 社会課題の解決

【データ活用事例】 KDDIのデータクリーンルーム

✓ データクリーンルームを用いる事で、プライバシー保護を行いながら、企業間でのデータ連携/活用を実現



「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

